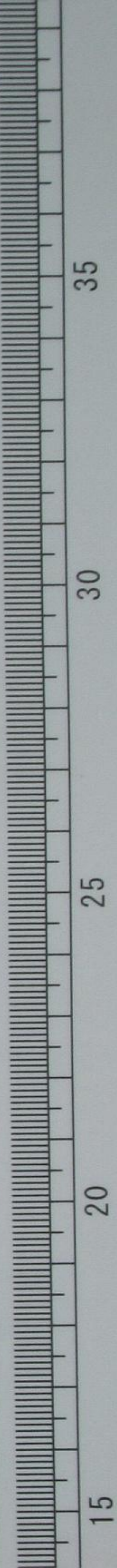


市中制法

柳田文庫

文庫11

A1931



文庫 11
A.1931

明治六年三月

市中制法

書林

萬卷樓

市中制法

條々



一御高札之旨謹而可相
守事

一追々布告其趣不可

市中制法

遠北月事

一 邪宗門并怪異之宗法
堅く禁示之然も上の五人組
互に穿牙毀金し不審之者
有之ハ速に可申出さる 緩

せしめて他より於波聞の
五人組之者も可為越度
事

一 五人組之儀ハ家並最寄の
を以組合せ親しく可相交

事

付組内喧嘩口論其他
故障出来之節ハ其人
組頭一組五人組取
捌カたきときハ戸長

相届可成ハハ町内
少ク取治む届一萬一
心ハ不任ト多ハ區長總
區長ハ順序ハ届出
共ニ取鑿之手段を盡

在屋一自然其取按ふ
を不任ときい可申出等
付他處人人別ふ加り
願出々々のあふ出交
産業等出紀一是

迄之在所役人より之
送籍状と取り人柄不
審も無之諸人等も有之
其書之のとも取置
五人組に加ふ

其儀をくむ審之に
留まらば五人組之
者可為越夜來

付 他處人店借り出稼
等小身ものも同判

迄之在處役人之送
り状を取り人柄を審
も無之請人等と有之
ハ其書之ものをし取置
滞りしさせ為而仕

法相違還通可許
其儀おく不審之
留主ふおいての家主
人組の之の處可爲
裁度事

付他處より年限奉
公人雇入り多き萬と
取紀一祝元名前年
齡等書記一少年
寄一可届出不審之

その留並ふおいてハ主
人之可為裁度事
付他處へ轉居此地之
人別を外き度願ひ
出づとの旨趣詳し

組合町役史紀一為
理至極の儀何ふ送
藉状さし出づ先方
之人別ふ加當地之位
組を可除事

付年限を以他所移り出
るものも同断所役を
添書者若出立屋了元
歸り期限を誤るる事
は以考據滞留を以

ふおいて其趣速奇
申越事

付組内死生縁組改名
家宅土賣買抱地讓
與産業預り其他出

入有之い其度と戸長
にお届戸長より區長
へ相届戸籍へ可付
記事

一町内懇和一區内相扶け

善を勧め惡を戒め共々
渡世之安穩ををわらふ
き事

付 鰥寡孤獨廢疾者
告之窮民ハ町内互ふ

申合常々心を注ぐ救
助申出等遺漏沈
滞去及由ふ事
付火災盗難或は病氣
等々不慮業を失ふ

之の所々組合町内心
並に産業業々基加志
む及し不任心取事
可々速し可申出事
付盗賊亂暴人防方火

之用心其他都而能
常敬言め之儀ハ五人
組町内其区内地主
兼テ申合置及急変相
助登一車扱より

隣区より互にお救
事

付高用其外ニ他國
出々その其趣所役
申出町役より往來
形

を取可死出然の上は
他國之病氣或る死に
等之儀相聞ハ親類
組合之内又其町役之
者罷越一件一の取掛

事

付 法事心得不直身持
故増あまの町に五
人組町役之その教訓
を加へ善道も導屋

一自然徒らるを操折
檻を不用悪行を尊
ふおいてい可申出事
付善行奇特の者何れ
可申出善人の出を

兼而亦一方より
故て其組合其所の
美事より出人の勿
論等ふより町役人
組の者迄い可出を

義事

一高利を貸り不正之高利
堅く誠むる所あり徳事
正直を旨とす家職精しく
可相勵事

付貸家貸地も過當の
代料取らましく諸
職人作料も間貸申
合せ高直ふは金とら
以

付諸高物締買或ハ申
合高價ヨク出屋ヨク
世上のたぬ物ヲ融
通せしむル必得可為
肝要事

付 出 處 不 知 物 不 能 買 也
とらまへし出賣知事
多量のモノは他人之
品に買ふ取らざる
以

付 盗物買取又ち所買より
置るもの品物取河汁申
付 盗物と名知買
清償買より取らるもの処
方をもり可申付事

付 贖せ金銀其外悪た
くみをも以人の眼を掠
むるものあり速し可
所出候令一旦其事
し推るをも其咎を免

トモす屋

付人之賣買堅く停止
之事

一博奕其外賄の徳勝負
堅く禁止之若くは報

ふとの可訴出隠

置他より於減聞ハ所後

五人組迄ハ可為裁度

事

一横死人自害人溺死人

倒きよりの等有り番人
付並可遊徑進事

付怪我人飢人病人等
有之節見捨置事
不人情之至也假令事

生不知者より心医
師を付介抱を加置
可届出事

一捨子墮胎別禁あり自
然貧窮より苦言存不能

者ハ可申出救助ノ可
也事

付捨子有之節ハ所
申合被養育置可
届出事

一新規之社寺建立停
止之事

付猥リ小僧尼トカ事
禁之自然理至極之
儀於有之ハ願出可

請免許事

付佛名題目之石塔供
若塚石地藏等建
立之儀向後停止
之所有理至極の

儀可願出可請
免許事

一 神奉佛事終被等
の節山許其外所不相
應之寄附假令舊例

心可減省事

付神佛開帳可屬公

事

一角力芝居狂言等私小

無行以以以問補野出

可請免許事

一蕙而免符之無之場所小

丁遊女藝妓亦不可抱置

事

付町人之畫娘共之味

縁舞曲等之遊藝
を専ら遊る酒
宴之席小立交り藝
者遊女等の見物
此等事堅く可お戒

事

一身分小應せらるる食衣事
借上之所行等了は事
しき事

付法縁組或は家督屋

浦買得の弘め出立座
年賀廿葬祭等之儀
花美虚飾を省き
實意を旨と爲し
事

一出を又不知との宿代り
〜都而他所人止宿を
乞ふとき在る處其外
紀〜往來券相改所
役人の届け其上より止宿

いさむを屋一巳のり間
を以右代屋うさる事
付社寺堂宮ふ隠き意
ふ胡亂のさのり
見當り次身とねおの之

取締所可遂注進
其外他所より入込の
不審有之い落付を
見届可申出事
一帯刀人僧尼の輩所人

名前の地ふ住居はる
の軒役其外所入費所
人同極差出さるる理
ふを申立る所の可
所出事

付商家住居之帯刃人
僧尼之輩に締り費
其外町内一統之人役
之儀ハ代人雇立り
出させ又ハ代料を

善者出させ了申事

一 役人の面々於市中権
威を振ひ或は私曲の多計
無理を仕掛る等の事
何ふ不隠可訴出来る家

来下人等少て心回
りる等事

一 賄賂堅く林ふ之種
名目を法け軽き品少
て心回り若
照りすく別て奉
役の

面よりいし是迄如何程の固
み有之共音信私物若出
事一切停止の事
一 諸事公論を決し衆庶
其處を得各志を遂

け志むる事

王政の御主意より其旨
よむ者諸人を妨ぐよみの
ふ町役或在官有司の
面より多り望み無悻可訴

出事

付毎年町役公撰の札
の儀依怙偏頗あり
家格ふ抱ふ是に當
の人材可申出事

付議事ふ下在事件
私曲を據へ是忌語得

を不憚公正ふ可申出
事

付何事ふよる以世上の

為之相成事心付ハ
何時とも申出奉

右條ニ依テ可相守是
永世の制法ニテ御不

可違北月との也

檢校
天

010190532467

Vertical text within a rectangular border, likely bleed-through from the reverse side of the page. The characters are faint and difficult to decipher.

Small handwritten characters at the bottom left of the right page.

